

矢木沢ダム

OKUTONE

■ 概要

矢木沢ダムは、利根川本川の最上流部に建設された多目的ダムで、高さ131mのアーチ式コンクリートダムです。

昭和34年に建設省(現国土交通省)が着手し、昭和37年の水資源開発公団(現水資源機構)の設立に伴い公団に継承され、厳しい地理的・気象的条件を克服しつつ工事が進められ、昭和42年に完成しました。

■ ダムの働き

□ 防災操作

ダム地点における計画高水流量毎秒900m³のうち毎秒600m³の洪水を調節して、利根川上流の他のダム群とともに、下流の流量を低減させます。

□ 流水の正常な機能の維持

利根川上流ダム群とともに、利根川沿岸の既存農地に対するかんがい用水の補給などを行います。

□ 新規利水

・農業用水
赤城・榛名山麓に展開する1万ヘクタールにおよぶ農地に対し、群馬用水等によって平均毎秒7.65m³(最大毎秒14.11m³)のかんがい用水を供給します。

・水道用水
群馬県内の水道用水のため最大毎秒2.918m³の取水を、また、かんがい期間を通じて東京都の水道用水のため最大毎秒4m³の取水をそれぞれ確保するよう放流します。

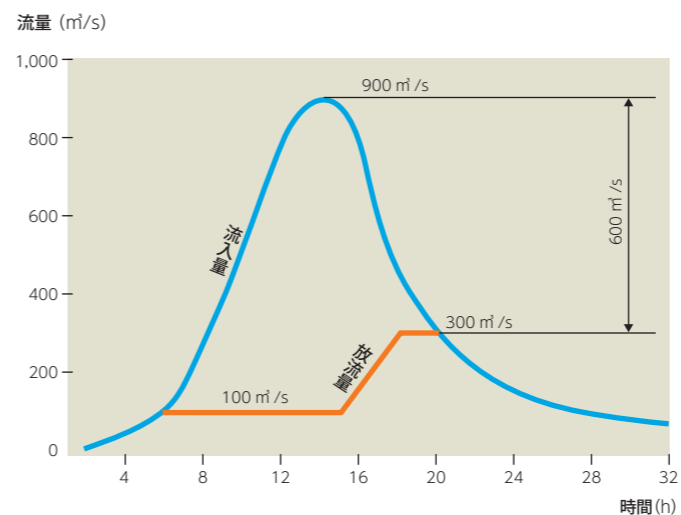
□ 発電

ダム直下に東京電力株式会社が設けた矢木沢発電所で、最大出力16万キロワットの揚水式の発電を行います。

都県別用水供給表 (単位: m³/s)

用水名	水道用水 (最大)	農業用水 (平均)	合計
東京都	4.00	-	4.00
群馬県	2.918	7.65	10.568
合計	6.918	7.65	14.568

防災操作図

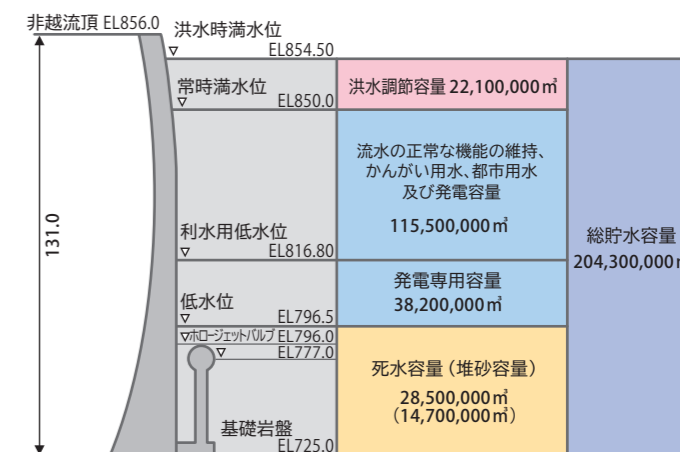


ダム地点における計画高水流量900m³/sのうち、600m³/sの洪水を調節。下流への放流量を最大300m³/sに抑えることで、洪水被害を減らします。

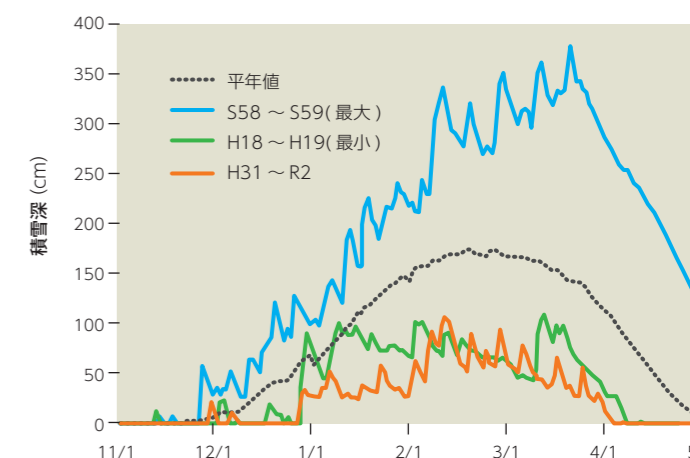
3タイプの構造からなる矢木沢ダム



貯水池容量配分図



矢木沢ダム地点における積雪深 (単位: cm)



ダム

河川名	利根川水系利根川
位置	群馬県利根郡みなかみ町藤原字矢木沢
型式	非越流式ドームアーチ式コンクリートダム
堤高	131m
堤頂標高	856m
堤頂長	352m
堤頂幅	7.90m
堤体積	571,000m ³

貯水池

名称	奥利根湖
集水面積	167.4km ²
湛水面積	5.10km ²
常時満水位	標高850.0m
洪水時満水位	標高854.5m
最低水位	標高796.5m
総貯水容量	204,300,000m ³
有効貯水容量	175,800,000m ³
堆砂および死水量	28,500,000m ³